

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 4 日 (2013.7.4)

【公開番号】特開 2011-258272 (P2011-258272A)
 【公開日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-051
 【出願番号】特願 2010-132208 (P2010-132208)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/09 (2006.01)
 G 1 1 B 7/1392 (2012.01)
 G 1 1 B 7/126 (2012.01)
 G 1 1 B 7/24097 (2013.01)
 G 1 1 B 20/14 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/09 C
 G 1 1 B 7/125 B
 G 1 1 B 7/24 5 7 1 B
 G 1 1 B 20/14 3 5 1 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 5 月 22 日 (2013.5.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 6】

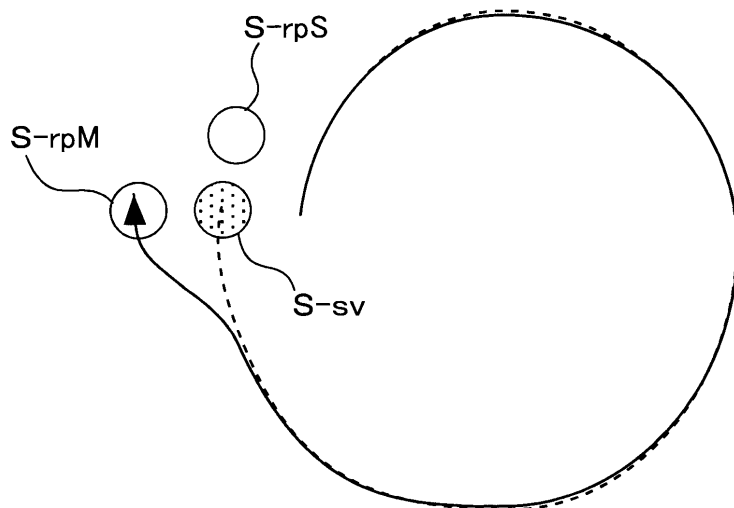
ここで、上記のようなセルフトラッキングの手法を採用する場合には、1 周目の記録を終了する際の情報記録位置のずれ量が、1 周目と 2 周目とでほぼ等しいということが重要となる。

前述の通り、ディスクの反りや偏芯は、ディスク上の半径位置や回転角度位置がほぼ同じであれば、その発生量もほぼ同等となるので、通常であれば、1 周目の記録の終了時に、1 周目と 2 周目の情報記録位置のずれが大きくなることは考え難い。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 図 2 7 】

(a)



(b)

